

■取扱い上のご注意


人身事故や製品の故障・損壊を防止するために、禁止されていることや実行しなければならないことを、下のマークで示しています。



してはいけない禁止事項を示します。




実行しなければならない指示内容を示します。




警告


この表示の注意事項を守らないと、死亡または感電・火傷などの人身事故の原因となります。



●通電中、本体内部に触れないでください。
●濡れた手での操作は絶対に行わないでください。
●通電中、本体内部に棒などの異物を入れないでください。




●結線は、電源をOFFにした状態で行ってください。
●本製品内部には、短絡漏電に関する保護機器は内蔵していません。
電源入力側に漏電ブレーカーを設置するなど適切な保護機器を設置してください。




警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡または感電・火傷などの人身事故の原因となります。



●本製品の改造や分解は、故障の原因となり、火災などの事態を招くことも考えられますので、絶対に行わないでください。コンセントプラグの付け替えは問題ございません。




●計器への通電前に、必ず、結線に間違いがないかを確認してください。結線の間違いは故障の原因となり、危険な災害を招くことが考えられます。



注意

この表示の注意事項を守らないと、使用者が軽傷を負うか、または製品の故障・破損の原因となります。

■安全対策についての注意



●本製品の製造管理には十分な配慮を行っておりますが、万一の故障に備えて、本製品の外部にて異常温度対策を行ってください。
●ノイズによる一時的な誤動作であれば、一旦、本製品の電源を切り再投入すれば正常動作に戻ります。しかし再発の恐れがありますので、ノイズによる誤動作が確認された場合は必ず、恒久対策を講じてください。

- 突入電流や電圧変動、負荷特性を考慮して安全率を確保の上、ご使用ください。
- 電線はゆとりをもって配線してください。
- 衝撃を与えないでください。
- 運転中に金属板に触れないでください。高温になるおそれがあります。
- 本装置が故障した場合に重大事故を生じないよう安全装置と併用してください。
- 本製品のケーブルを捻じったり絡ませないようにご使用ください。

■設置場所についての注意

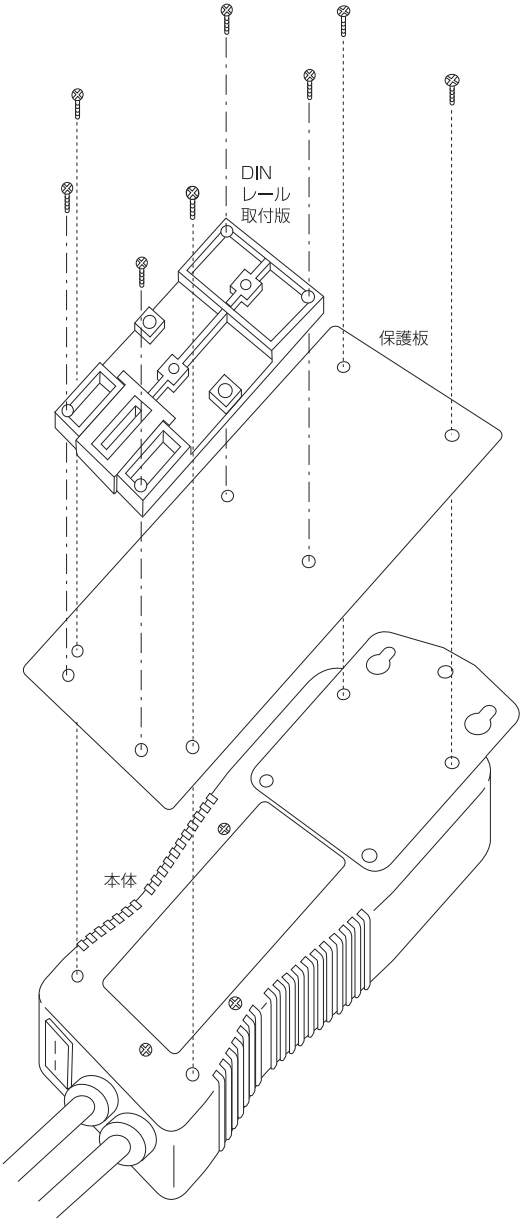
- 本製品は、以下のような場所に設置してください。
- 周囲温度が-10℃～40℃の範囲で、直射日光や電気炉等の熱などを受けず、温度変化が少なく常温に近い換気の良い屋内
 - 周囲湿度が25～85%Rhの範囲で低湿や多湿にならない場所(結露しない場所)
 - 硫化ガス、腐食性ガス、研磨液のミストなどのない場所
 - 粉塵、油煙、煙害、塩害などのない場所
 - 水滴、油、薬品などのかからない場所
 - 機械的振動、衝撃などが極力かからない場所
 - 電氣的ノイズの影響の少ない場所 ※強電回路の近くや誘導障害の大きな場所は避けてください。
 - 電磁界の影響の少ない場所
 - 放熱を妨げないよう、温度コントローラの周辺をふさがないようにください。

■接点寿命についての注意

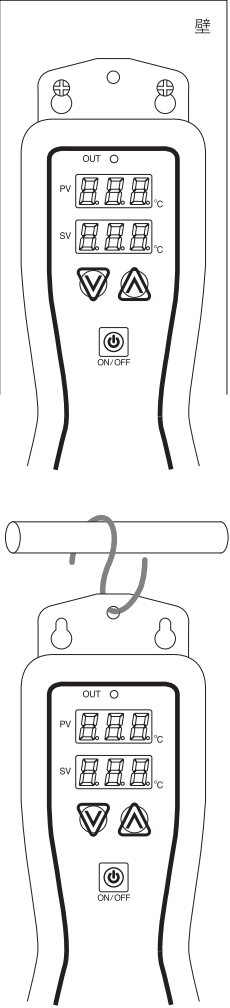
- リレーの接点寿命を超えて使用しないでください。
- 接点寿命は20万回です。20万回を超えて使い続けると火災の原因となります。
- ※動作が20万回を超えるとPV画面が点滅します。

設置方法

DINレール(35mm)に本製品を取り付けてお使いになる方には、オプションとして取付板もご用意していますのでお問い合わせください。ネジを使用し取り付け、取り外しができます。

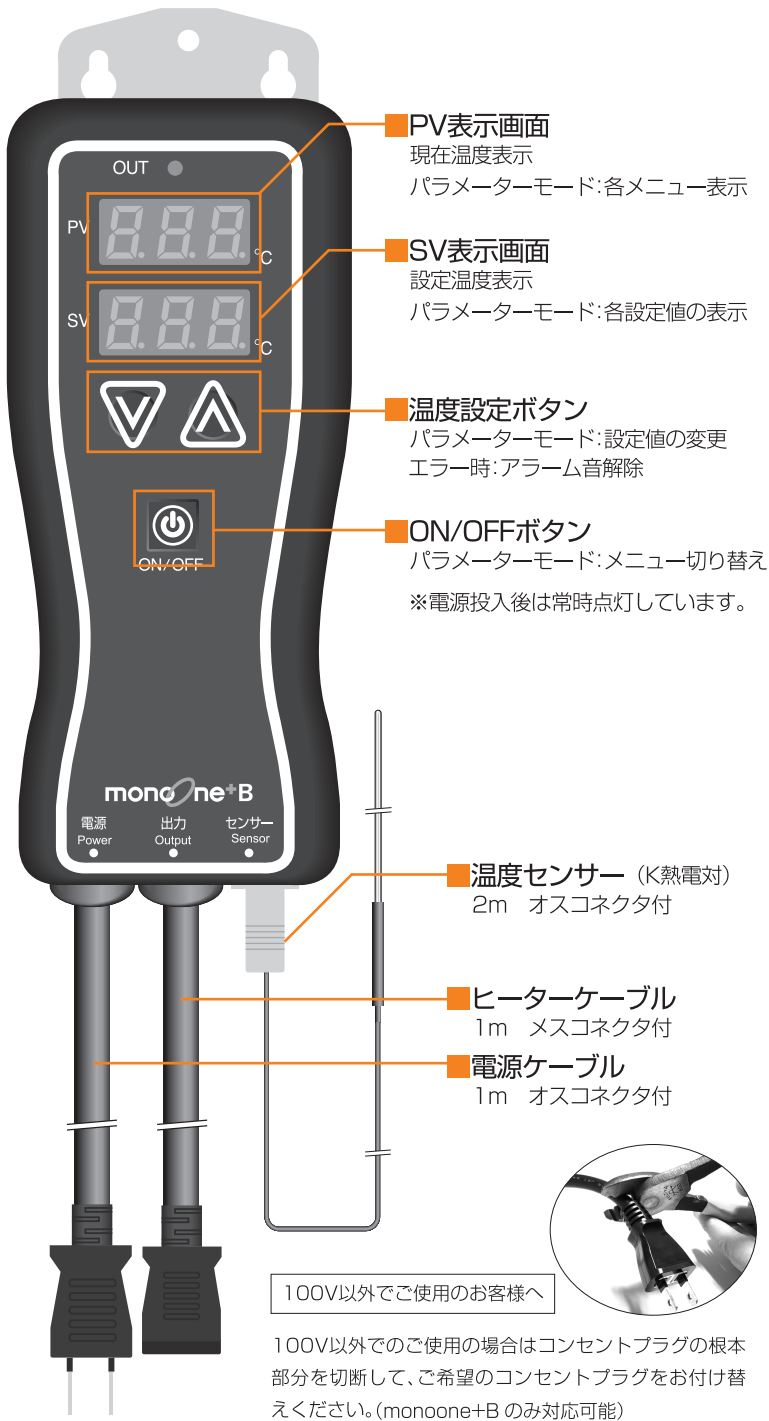


壁に取り付ける際は、取付金具を利用してボルト・ネジ等で固定して下さい。吊り下げる場合は、振動や揺れがないよう取付を行って下さい。



各部名称

※画像はmonoone+Bです。



基本操作 (温度設定)

温める温度を設定する操作方法です。

※画像はmonoone+Bです。



monoone+Bの定格電流は12A以下となります。
monoone+Wの定格電流は0.5A以下となります。

1

ヒーター、センサーを取付後電源に接続します。

※画面が「**888**」と点滅表示されその後、スタンバイ状態になります。

2

ON/OFFボタンを押すとスタンバイ状態から運転状態になります。

3

▽か△ボタンを押すことでSV画面の温度設定値を変更することができます。

※設定後、3秒間操作が行われないとSV画面が点滅から点灯に変わり設定値に変更されます。
※運転を停止するにはON/OFFボタンを押すことで停止状態になります。
※温度センサーは、ヒーターに付けてご使用下さい。

※100V使用時のイメージとなります。電圧に合わせてご利用ください。

応用操作 (パラメーターの設定)

「通常モード」から「パラメーターモード」へ切り替え、パラメーターを設定します。
(ここでは過昇温度絶対値設定を100℃に変更する場合を例に説明します)

1

ON/OFF

●PV画面に「**PR**」表示後、「**dFS**」に切り替わります。

2

ON/OFF

●「**dFS**」から「**RLH**」に切り替わります。
※SV画面の初期設定値は「**300**」です。

3

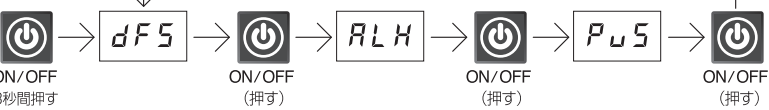
▽△を押してSV画面を「**100**」にします。

4

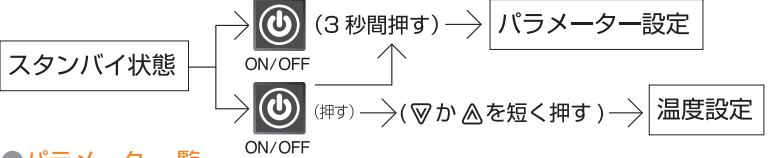
ON/OFF

●「**dFS**」を3秒以上長押しして設定完了運転開始します。
※センサーの感知温度が100℃を超えるとPV画面に「**E2**」と表示されアラーム音が鳴り、ヒーターに通電しなくなります。

●パラメーターの表示順番



●各モードの切り替え



●パラメーター一覧

記号	項目	設定範囲	初期設定値	分解能	説明
dFS	ヒステリシス幅設定	1～100℃	2℃	1℃	動作温度と復帰温度の差
RLH	過昇温度絶対値設定	0～999℃	300℃	1℃	過昇温防止の設定温度
PUS	PV補正	-199～999℃	0℃	1℃	測定温度の補正值

※分解能とは一般的に識別できる限界(最小単位)のことです。